

編 集 後 記

▶蒸し暑い夏も終わり、夜になると肌寒くなる季節になりました。そして、私自身も市町村課に来て半年の月日が経ちました。毎日毎日がとても速いスピードで流れ、未だに仕事に追われる日々が続いています。

仕事の一つとして、財政Gの自治大阪編集委員を任されてからは、どのような形で仕事を進めていけばいいのかわからないことが多かったのですが、職場の上司・先輩方のアドバイスを頂きながら、ここまで来た感じです。

普段の生活も仕事中心となり、大変充実した生活を送っておりますが、忙しさに追われ不規則な生活になっていることも正直なところです。10月以降は、気候も過ごしやすくなるので、心も体も余裕をもっていけるように頑張っていきたいと思っています。(A. H)

▶暑かった夏も終わり、秋晴れの季節になってきた。休日ともなると近くの小学校では運動会が行われ、子供たちの声や音楽が賑やかに聞こえてくる。そんな光景を見ていると、ふと30数年前の思い出が蘇ってくる。と同時に自身もそんなに若くないなあと感じた瞬間でもある。

最近、本屋に立ち寄って何気なく手に取った1冊の本がある。PHPから出版されている「定年上手 ～人生後半の設計図～あるのとないのとどう違う～」という文庫本で、森村誠一氏と堀田力氏の共著である。定年なんてまだまだ先の話で無縁だ、と思いつつ興味津々で買った。大概是斜め読みに近い読み方をするのだが、この本を読んでいると不思議なことになかなか読み終わらない。そう言えば私の公務員生活も折り返しに入ってから数年が経つ。周りには自分の子どもの年齢に近い新

採職員も入ってきた。そんなこともあり、自身の人生とダブらせて読んでほしい。

たった一度しかない人生、精一杯充実した人生を送るために、仕事以外の人生のテーマをそろそろ見つけようか、そんな気になった一冊の本であった。(H. S)

▶皆さんがこれを読んでおられる頃には、選挙の余波も収まっていることと思いますが、衆議院は時間が短く、ちょっとお手伝いをするだけの身ですら大変でした。選管の方々にいたってはどれほどかと思うと…

ところで、選挙に関連して、「地方分権時代なのだから、地方公共団体の首長や議員の選挙ルールについては、公選法で一律に定めずに地方独自で定めては」という趣旨の記事を読みました(出典は忘れてしまいました)。選挙権の範囲やシティマネージャー制度など首長の選出方法についての議論はよくなされていますが、この記事は個別訪問規制などのルールに関することだったので新鮮でした。国政以上に身近な行政を行うのですから、なおさら候補者の人格、資質がよりわかりやすくなるようなルールを考えることも必要となるのかなとも思います。(Y. N)

編集庶務は大阪府総務部市町村課
総務・企画グループで行っています。
〒540-8570
〔府庁の専用郵便番号ですので、
住所の記載が省略できます。〕
☎ 06-6941-0351 (内線2228)
06-6944-6096 (市町村課直通)

サマージャンボ宝くじ オータムジャンボ宝くじ

～市町村のまちづくりに役立っています～

月刊「自治大阪」の発行は、サマージャンボ宝くじの収益金を活用しています。

